



国営かんがい排水事業

しんむかわ 新武鶴川地区

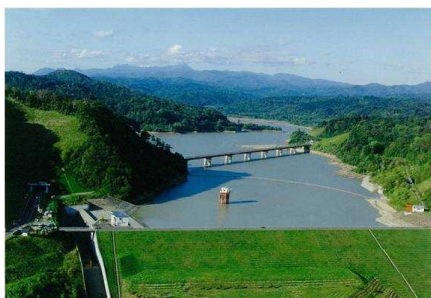
◆事業の目的

本地区の用排水施設は、国営武鶴川土地改良事業(S38～S45)等により整備されたが、造成後30年以上が経過し、用水施設は老朽化に加え、凍害によるコンクリートのひび割れ、凍上による水路側壁の傾倒等の発生により、農業用水の安定供給に支障を来している。さらに、穂別ダムの管理棟は必要な耐震性を有していないことから耐震化対策が必要となっている。また、排水施設は降雨量の増加等の要因により流下能力が不足し、周辺農地で湛水被害が発生している。

このため、本事業では、用排水施設の整備と穂別ダムの管理棟の耐震化対策を一体的に行い、併せて関連事業において支線排水路を整備することにより、農業用水の安定供給と維持管理の軽減、農地の湛水被害の解消を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。



武鶴川沿いに拓けた農村地帯

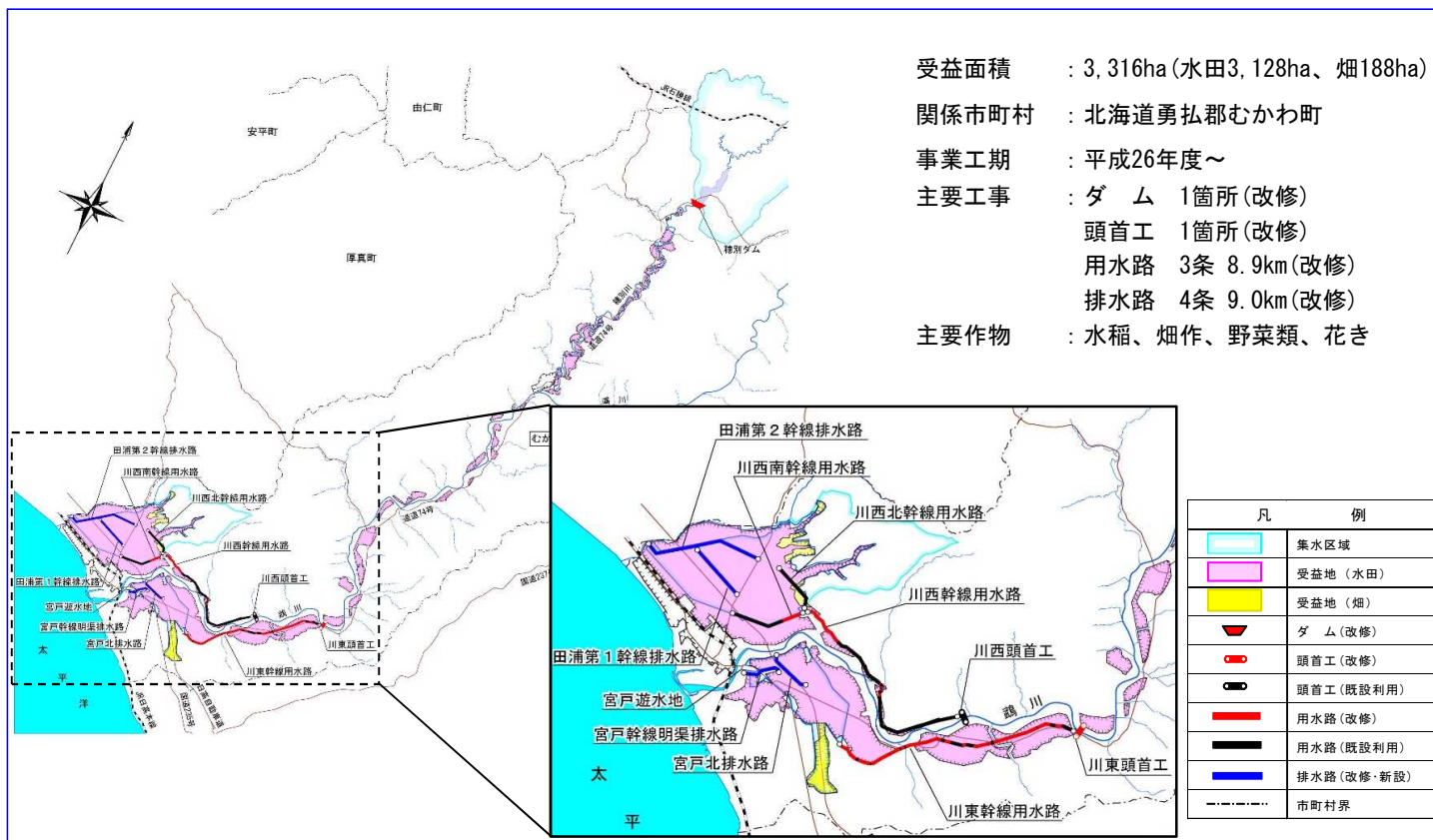


穂別ダム（昭和60年完成）



川東頭首工（昭和45年完成）

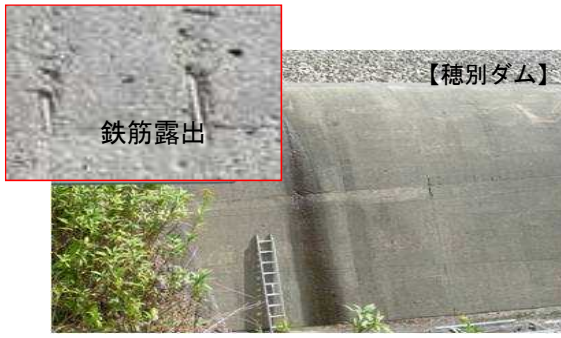
◆事業概要



- 受益面積 : 3,316ha(水田3,128ha、畑188ha)
- 関係市町村 : 北海道勇払郡むかわ町
- 事業工期 : 平成26年度～
- 主要工事 :
 - ダム 1箇所(改修)
 - 頭首工 1箇所(改修)
 - 用水路 3条 8.9km(改修)
 - 排水路 4条 9.0km(改修)
- 主要作物 : 水稲、畑作、野菜類、花き

◆地域の課題

- ダム・頭首工は劣化が進行し、維持管理に多大な経費を要している。また、ダム管理棟は耐震性を有していない。
- 幹線用水路は劣化が進行し、構造的に不安定な状況となっており、倒壊事故も発生している。
- 排水路は降雨量の増加等により流下能力不足となっており、湛水被害が発生している。



洪水吐の劣化(鉄筋露出、ひび割れ等)
ダム管理機器が劣化及び管理棟の耐震性不足



用水路の傾倒が発生
倒壊防止のため維持管理費が増嵩



ゲート類の発錆、板厚減少による強度不足
固定堰のひび割れ等



降雨量の増加により
大雨時に湛水被害が発生



◆事業の効果

劣化が進行している用水施設の改修により用水の安定供給を図るとともに、流下能力が不足している排水施設の整備により湛水被害の解消を図る。これにより、米の安定した生産、水田の畑利用による小麦、大豆等の畑作物や野菜等の安定生産に寄与する。

【用水施設の改修 (イメージ)】



劣化が進行した施設の改修による
用水の安定供給

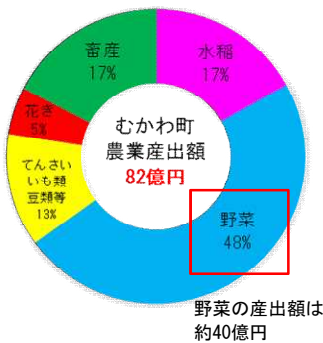
【排水能力の向上 (イメージ)】



排水施設の整備による
農業生産の向上

- ★食料自給率の維持・向上に貢献
- ★市場への安定的な農作物供給
- ★飼料米生産により、国産飼料の利用拡大に貢献
- ★作物の付加価値向上やブランド化により地域経済の活性化

【地域の作付状況】



出典: 平成30年市町村別
農業産出額(推計)

【高品質米】



特A品種の「ななつぼし」「ゆめびりか」を使用

【かぼちゃ】



市町村別で道内2位の生産量。一部はアイスに加工・販売

【トマト】



日持ちと品質、食味、果肉ともに優れた品種「りんか409」

【ブロッコリー】



青果商の参入に作付面積が大幅に拡大。関西圏へ多く出荷